

「記述」問題解答例 ①

人間関係の持ち方には個人的な好みがある	20
だろう。しかし、社会的な場面では自分の好	40
みから離れた人間関係を持つことも求められ	60
る。	80
例えば、学校や職場で何かを成し遂げよう	100
とする時、一人で完成させるのは難しい。他	120
の人と共に作業をすることが必要だ。この場	140
合、まずは、限られた人たちと密接なやりと	160
りをすることになる。その過程で相互の理解	180
が深まり、かけがえのない仲間となっていく。	200
しかし、目的達成の過程には往々にして障	220
害がある。そのような時に限られた仲間だけ	240
ですべてを解決しようとする、互いに無理	260
を押しつけ合い、それまでの関係を損なうこ	280
とにもなりかねない。解決するためには、親	300
密な仲間以外との交流も有用である。新たな	320
メンバーの参加は、新しい刺激をもたらし、	340
視野を広げるきっかけにもなり得るだろう。	360
つまり、上に挙げた例でいえば、新しいメ	380
ンバーの参加は、元々の人間関係を弱めるも	400
のではなく、むしろいい影響を与える。この	420
ように、親密な仲間との関係に加えて、新し	440
い関係にも目を向けていけば、よりよい人間	460
関係を築いていけると考える。	480
	500

「記述」問題解答例 ②

仕事をする前に習得しておいたほうがよい	20
知識もあれば、仕事をしながらでしか身につ	40
けられない知識もある。それらは、どこで仕	60
事を探すかによって異なるのではないか。	80
日本と私の国では大学卒業後の仕事の探し	100
方が異なるため、仕事をする前に求められる	120
知識や技術も異なっている。	140
日本では、一般常識や基本的なPC操作等、	160
仕事を探す前に習得しておくべきことはある	180
ものの、多くの知識は入社してから身につけ	200
るそうだ。また、入社後、社内の人間関係に	220
精通することも知識のうちだと聞いている。	240
一方、私の国では、大学で学んだ専門性が	260
重視され、さらにその後もインターンや短期	280
雇用での経験を積まない限り安定した仕事は	300
見つけられない。会社に入るといっても、	320
明確に職種が規定され、その職を得るシステ	340
ムとなっている。したがって、私の国では事	360
前に習得した知識や技術が仕事を探す武器に	380
なる。IT業界ならば、大学の専攻はもちろ	400
ん、資格、関わったプロジェクト、作成した	420
ソフト等、全てが判断材料とされる。	440
このように、いつ、どのような知識や技術	460
が求められるかは、どこで仕事を探すかによ	480
って異なると思う。	500